

美山ホーム

四季折々

七夕



七夕は五節句のひとつで、縁起の良い「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」と呼ばれています。また、笹を用いて行事を行うことから、別名「笹の節句」ともいわれます。

美山ホームでも七夕行事として、今年も各フロアや事務所玄関前に竹・笹をしつらえ、ご入居者の『願い』が書かれた色とりどりの短冊を飾りました。さらに、ご入居者と職員が一緒に作った提灯や輪飾り、投網、吹き流しなども加わり、『思い』『願い』の数以上に華やかな景観となりました。

昼食には行事食として、ソーメン、かき揚げ、冬瓜の冷やし鉢、スイカをご用意し、例年通り大変ご好評をいただきました。

七夕の願いがどうやって叶うのかには諸説ありますが、本質的な考え方は「願い事は誰かに叶えてもらう



ものではなく、自分自身が叶えるための目標宣言である」というもののようにです。神様への「お願い」というよりも、「自分の決意を表明する」行為なのです。

ご入居者それぞれの『願い』や『思い』が、七夕を節目に「〇〇ができるように私が頑張ります」といった生活の新たな目標につながるよう、私たち美山ホーム職員一同、寄り添いながらお力添えしていきたいと改めて感じました。(井上)



三浦海岸花火大会

8月7日の夕刻、

ご入居者の方からは「花火なんて何十年ぶりに見ただろう。すごく綺麗だね」と笑顔でお話しいただき、花火を眺めながら手を叩いて大変喜ばれていました。コロナ禍で花火大会の中止が続いていたこともあり、今年は5年ぶりに美山ホーム屋上での花火鑑賞を実施できました。参加された皆さまは、久しぶりの夏の風物詩を存分に満喫されている様子でした。(石渡)



若宮神社例大祭

「ドンドン」「ドンドコドン！」

9月6日、胸が高鳴る音とともに、若宮神社例大祭の神輿が美山ホームへ来訪しました。



前日が大雨だったため、皆さま不安を口にされていましたが、当日は心配を吹き飛ばすほどの晴天となり、利用者様一同、笑顔でお迎えすることができました。

神輿が到着すると、皆さま目を輝かせてご覧になり、中には「昔を思い出



したよ。私も昔やっていたんだ」とお話しされ、感慨に浸られる方もいらつしやいました。気温の移り変わりが大きい時期ですが、神輿に負けないほどのパワフルさで、暑い暑い今年の夏を乗り切りました。(掛谷)



チョット素敵な出会い

(120号続編)

オバアこと富子さんのその後です。6月に生まれた三人目の曾孫『幸士』君に出会えたのは7月の梅雨明けの頃です。

自分と瓜二つの手を繋ぎ、瞳を見つめ、抱っこもでき、想いを達成されました。

在宅中、家族を支え、人生の変化を乗り越えて今は家族に支えられている富子さん、小さな幸せを大事にしてこれからも輝いて下さい。

(松崎)

